

事務事業調書 平成23年度	No 295	課名 子ども課	起案者 谷川裕子
事業種別 市民サービス		係名 子育て支援係	決裁者 杉浦雄裕
事務事業名 児童クラブ事業		区分 継続	業務一覧No 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8
			他係名 他係業務一覧No

1 事務事業の位置付けと起案事由(事業の必要性)

総合計画体系	2 健康で安心して暮らせる環境づくり	予算科目(会計)	一般会計
	2 社会福祉	予算科目(款・項・目)	15-10-25
	3 子育て支援	総合計画以外の計画	次世代育成支援行動計画
	4 児童の健全育成	関連する総合計画の施策	
1 児童クラブ		法定受託事務	無
性質区分	特定の市民や団体を対象にしたもの(選択的事業)		
根拠法令	有 児童福祉法第6条の2第2項、安城市児童クラブ規則		
実施方法	一部委託	委託先	その他(第2種社会福祉事業の届出がなされた団体)
実施期間	開始 平成04年度	経過 19年目	終了 期間
公約・議会答弁	有 全小学校区へ整備する		
陳情・市民要望	有 4年生以上の利用		

2 事務事業の概要

求める成果	誰(受益者)が	仕事をしている子どもの親が	~になる	(小学校区内の)児童クラブに子どもを預けることができる。
事務事業の内容	昼間保護者のいない家庭の小学校低学年児童を対象に、適切な遊び及び生活の場としての児童クラブを設置し、児童の健全育成の向上を図る。			
事務事業進捗状況	児童クラブ数(4月1日現在登録児童数) 平成18年度民間児童クラブ数4か所(132人)・公立児童クラブ数21か所(783人) 平成19年度民間児童クラブ数4か所(133人)・公立児童クラブ数21か所(879人) 平成20年度民間児童クラブ数5か所(137人)・公立児童クラブ数23か所(944人) 平成21年度民間児童クラブ数5か所(147人)・公立児童クラブ数23か所(919人) 平成22年度民間児童クラブ数5か所(132人)・公立児童クラブ数23か所(963人) 平成23年度民間児童クラブ数5か所(141人)・公立児童クラブ数25か所(996人)			
改善・対策の履歴	平成21年度より公立児童クラブ(三河安城第2・第3児童クラブ)の建設工事を着工、平成22年度に完了しました。平成22年度に公立児童クラブ(作野第2児童クラブ)がプレハブから教室棟へ移転しました。また、公立児童クラブ(北部第2児童クラブ)の設計が完了しました。平成23年度より建築予定の公立児童クラブ(二本木第1・第2児童クラブ)の建設用地を取得しました。			
環境配慮の視点	環境目標○—基本的施策○—具体的施策○			

3 事務事業の事業費(千円)、人員推移(人)

項目	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度	
	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	実績	目標(予算)	
総事業費 f=a+d+e	195,656	271,275	327,754	285,511	333,584	524,943	335,909	
財源計 a	151,831	227,450	279,713	237,470	284,338	475,697	286,211	
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	41,433	64,003	61,173	59,413	69,148	82,395	80,803
	市債	0	0	0	0	0	0	0
	その他()	0	64,837	65,917	65,388	65,014	66,101	64,751
	一般財源	110,398	98,610	152,623	112,669	150,176	327,201	140,657
受益者負担金	60,575	64,837	65,917	65,388	65,014	66,101	64,751	
職員人件費 d	43,825	43,825	48,041	48,041	49,246	49,246	49,698	
内訳 従事職員数	5.82	5.82	6.38	6.38	6.54	6.54	6.60	
人事課予算分人件費 e	0	0	0	0	0	0	0	

4 求める成果を得るための活動

			年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
活動	活動①	活動名(活動内容)	クラブ運営事業	見込(単位)	23.00	23.00	25.00	27.00
			実績b(単位)	23.00	23.00	25.00		
		指標名(単位)	公立児童クラブ(か所)	活動の総事業費f 実績	232,970	227,823	299,735	
				単位コストg=f÷b 実績	10,129.13	9,905.34	11,989.40	
	活動②	活動名(活動内容)	維持管理事業	見込(単位)	23.00	23.00	25.00	27.00
			実績b(単位)	23.00	23.00	25.00		
		指標名(単位)	公立児童クラブ(か所)	活動の総事業費f 実績	7,801	33,721	204,072	
				単位コストg=f÷b 実績	339.15	1,466.11	8,162.88	
	活動③	活動名(活動内容)	民間クラブ委託事業	見込(単位)	5.00	5.00	5.00	5.00
			実績b(単位)	5.00	5.00	5.00		
		指標名(単位)	民間児童クラブ(か所)	活動の総事業費f 実績	30,504	23,968	21,134	
				単位コストg=f÷b 実績	6,100.80	4,793.60	4,226.84	

5(1) 成果の目標と実績

		指標名・指標式(単位)	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
成果	成果1	公立児童クラブの設置数/目標設置数(%)	見込(単位)	100.00	100.00	100.00	100.00
			実績(単位)	100.00	100.00	100.00	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			
	成果2	月平均公立児童クラブ入会児童数/公立児童クラブ定員数(人)	見込(単位)	0.80	0.80	0.80	0.75
			実績(単位)	0.87	0.89	0.80	
			達成状況	達成	達成	達成	
		目標成果指標値	0.00	目標達成年度			

5(2) 成果1、2以外の成果

成果	市民の意見、利害関係者の声などをプラス・マイナス両面からコスト、成果に分けて具体的に記入	
	・利用児童の大きなケガや事故がなく、安定したクラブ運営ができました。	

6 単位コストと成果の分析

項目	どのような内部の取り組みや外部要因が影響を与えたのか、プラス・マイナスの両面からコスト、成果に分けて具体的に記入
単位コスト	<ul style="list-style-type: none"> ・中部第2児童クラブ、二本木第1・2児童クラブの設計委託のため、委託料が増加しました。 ・作野第2児童クラブが校舎内に併設されたため、使用料及び賃借料が削減されました。
成果1,2	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の申込数が比較的安定していたため、入会待機児童ゼロの維持ができました。

7 所属長の改善案

改善	コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案、市民にわかりやすく説明する
	今後も運営事業や維持管理事業の費用の軽減を工夫していきます。入会児童数の増加から、入退会や育成料徴収等の事務誤りのない業務標準を確立し、スムーズな事務処理ができるようにしていきます。

8 方向性

方向性	必要性、効率性、有効性を踏まえ、今後どのように事業を進めるか、方向性を選択し、内容を市民に説明します
拡充	児童数及び利用率ともに増加傾向にあるため、第2クラブの増設、施設整備が必要となりますが、放課後の子どもの居場所作りについて総合的に検討していきます。